



作者紹介 根からのきのこ好きさん
最近、クリームシチューにヒラタケを入れるのがお気に入りです! ぜひ!
投稿ありがとうございます!

市民活動 Plus ONE 情報

皆さんは「行事保険」聞いたことがありますか?

「万が一、参加者がケガをしたらどうしよう。」ということが行事主催者が気になることの一つにあると思います。「行事参加者が歩行中に転倒してケガをして足を骨折したら。」「参加者用メントが壊れてけが人が出てしまうかもしれない。」など、万が一のことを補償してくれるのが「行事保険」です。ケガで病院に通院したら、一日目から保険をもらうことができます。また、提供した食べものが原因で食中毒にかかる場合にかかる治療費などの賠償も補償されます。保険料は行事内容によって異なりますので「こまえくぼ」にお問い合わせください。

行事保険と似た保険で「レクリエーション保険」があります。二つの保険の違いは、行事保険

③笑顔のひと 第37代柏江青年会議所理事長 音楽の街—柏江エコルマ企画委員会 中村 昌弘さん



結婚を機に柏江に住んで11年目、市内でも多方面で活躍の場を広げているシテ方金春流能樂師の中村昌弘さん。能樂を広めるための活動や思いを語っていただきました。

●能を始めたきっかけは?

2歳11ヶ月の時、母の趣味の影響でお稽古を始めました。現在は、一番歴史が古いと言われる、金春(こんぱる)流に所属して活動しています。市内に妻と息子2人の4人暮らし。息子も稽古に励んでいます。

●どんな活動をしていますか?

柏江市に転入した直後に、能樂師としての活動を柏江市で広めたく、エコルマホールに足を運び相談したところ、能樂講座開催に結びつきました。以降、現在も年に4~5回能樂体験講座を行っています。更に、小学校で能という伝統文化を

伝える講演会を行う中で、和泉小学校の子ども達から能を継続してやりたいという手紙が届きました。それを機に伊豆美神社で9年。現在、お稽古場所は変わりながらも幼稚園年中~小学6年生のお子さん達が月4回のお稽古に励んでいます。

今までの活動の中で、小さな街柏江で色々な人に出会い、桜まつりへの出演依頼もありました。今年は、古民家園で子ども達の体験や春にちなんだ演目を舞いました。秋からは、コマラジのパーソナリティーをすることになりました。

●今後の抱負・夢は?

能樂師としてのキャリアを積むこと。また、柏江での企画した活動を元に入り口だけでも親し



みやすい能の普及、そしてより多くの子ども達に能を知つてもらいたいです。



アナログtwitter 飲食店で聞きました!

なぜ柏江でお店を開いたのですか?柏江の魅力は?



行事保険・ボランティア保険の加入、相談は「こまえくぼ」で受け付けています。

は「福祉活動やボランティア活動を目的とした団体」が契約する保険で、レクリエーション保険はどんな団体でもイベントであれば加入できる保険です。

行事保険は各市区町村の社会福祉協議会で取扱っており、柏江市では「こまえくぼ」と柏江市社会福祉協議会(あいとぴあセンター内)にて取扱っています。

行事に参加する人、行事を主催する人それぞれが持っている「もしもの時の心配事」を保険でカバーしたらどうでしょう。行事保険の加入手続きや保険に関するご相談がありましたら、「こまえくぼ」までお越しください。ボランティア活動者個人にかかる「ボランティア保険」も取扱っています。必要な保険を利用し、安心して活動を行いましょう。

編集後記

柏江で一押しの広報誌“こまえがお”的に携われることになり、初めての取材では右手にカメラ、左手にICレコーダー、メモを取る手は!?とチバニックになりながらも、なんとか現場の「熱い思い」を取材することができました。

読者の方々に気持ちが明るくなる「優しさ」をお届けできるよう活動していきます。

(新メンバー高橋)

こまえくぼ1234より

令和2年1月4日(土)~2月29日(土)の間、試行的に休館日を変更します。

- ・12月までは火曜日・祝日が休館です。
- ・12月29日(日)~1月3日(金)は年末年始のお休みです。
- ・1月、2月は月曜日・祝日が休館です。

